

## 学会だより

### 2002年シンポジウム課題の公募

来年帯広畜産大学で開催予定の日本育種学会秋季大会のシンポジウムの課題を公募いたします。広範な話題のシンポジウムになるよう多数の応募をお願いいたします。なお、2002年からはシンポジウムのプロシーディングの簡素化と講演要旨集への組み入れを検討していますので、公募締め切りは年末とし、シンポジウム課題の決定は2002年4月となる予定です。従って、要旨集に掲載する原稿の締め切りも講演要旨と同一となります。

#### 要領

1. シンポジウムは全体で3課題程度とし、課題を公募する。
2. シンポジウムの形式は従来に準ずる。
3. 応募者は下記の事項について記載の上、シンポジウム委員長宛応募する。事項はA4判用紙に横書きで簡条書きにすること。
  - 1) 課題責任者氏名、連絡先、電話およびファックス番号、E-mailアドレス
  - 2) シンポジウム課題名
  - 3) 課題設定のねらい、内容、範囲などに関する簡潔な記載
  - 4) 予定話題提供者氏名、所属、予定話題名(話題提供者は会員に限らなくてよい)
  - 5) 予定時間
  - 6) 予想参加者人数
  - 7) シンポジウム開催にあたって学会本部および開催地の実行委員会に特に希望する事項(以上すべての項目について明確な提案のできない場合は、2)3)4)についての情報提供も歓迎します。
4. 応募宛先  
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学農学部  
古田喜彦(シンポジウム委員長)  
E-mail: furutay@cc.gifu-u.ac.jp
5. 締切 2001年12月20日

### 常任幹事会記録

開催日:平成13年2月24日

場 所:東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者:会長 武田和義,副会長 足立泰二,二宮正士,平田豊,平野博之,佐藤和広,大澤良,木庭卓人,辻本

壽,中村郁郎,松田長生,矢野昌裕,岡正明。

各常任幹事の経過報告を行った後、予算案の検討、50周年記念事業、編集委員会の体制などについて討議した。

### 幹事会

日時:平成13年3月31日 14:00~18:00

場所:日本大学 生物資源科学部

出席者:会長 武田和義,副会長 足立泰二,島本義也,沢田壮兵,新関稔,森宏一,渡辺正夫,岡正明,西尾剛,福山利範,佐々木卓治,松田長生,二宮正士,矢野昌裕,大澤良,生井兵治,丸橋亘,藤垣順三,長戸康郎,平野博之,井出雄二,平田豊,笹野哲夫,辻本壽,野村和成,木庭卓人,三位正洋,中村郁郎,北野英巳,佐藤洋一郎,古田喜彦,神山康夫,長谷川博,谷坂隆俊,大田正次,上島脩志,富田因則,安室喜正,佐藤和広,一井眞比古,吉村淳,佐藤光

#### 報告

各常任幹事から経過報告がなされた。

- (1) 会員数は3月20日現在、名誉会員12名、個人会員1863名であり、団体会員、海外会員および賛助会員を合わせた総数は2267名である。
- (2) Breeding Science 第50巻には原著37報、資料4報を掲載し、総計316ページであった。育種学研究第2巻には原著14報、ノート1報を掲載し、特集、通信などを含め総計233ページであった。
- (3) 平成12年度秋季大会(弘前大学)での講演総数は267題(うち取り消し2)であった。平成13年度春季大会(日本大学)での講演総数は273題(うち取り消し2)の予定。
- (4) 瀬古秀文氏の転出に伴って富田因則氏、吉田智彦氏の転出に伴って田谷省三氏が内規により交代することになった。

#### 議題

- (1) 学会賞等選考委員として島本義也,新関稔,西尾剛,生井兵治,三位正洋,福井希一の6氏が選出された。内規に従い、委員長は副会長の足立泰二氏となった。
- (2) 総会議事事項として平成12年度決算報告,平成13年度予算案が検討された。
- (3) 50周年記念事業について、総会の後に開催される記念式典および祝賀会の紹介と各事業の進行状況について説明があった。
- (4) 日本育種学会賞運営内規改正案が承認された。
- (5) シンポジウム要旨の印刷方法について、本年度は従来通りとするが、次年度以降講演要旨集に組み入れ

る方向で検討することとした。

- (6) 学会誌別刷り代金を100部まで無料、それ以上は1部20円に変更することとした。
- (7) 平成14年度春季大会は稲津厚生氏を大会運営委員長として平成14年3月29(幹事会)、30および31日に玉川大学で開催されることになった。

### 総会議事内容

- (1) 経過報告(庶務, 編集, 集会)
- (2) 平成12年度決算報告
- (3) 平成13年度予算案の審議
- (4) 50周年記念事業
- (5) 次期開催校(九州大学)の紹介

以上はいずれも異議なく承認された。

### 平成12年度日本育種学会賞および日本育種学会奨励賞受賞式

日本育種学会賞

高木 胖氏, S.M. ラーマン氏: ダイズ種子脂肪酸組成の改良に関する遺伝育種学的研究

北陸農業試験場「キヌヒカリ」および「どんとこい」育成グループ: 「キヌヒカリ」および「どんとこい」など水稲の極良食味・高品質・安定多収品種の育成

日本育種学会奨励賞

貴島 祐治氏: 植物トランスポソンの転移機構に関する分子遺伝学的研究

### 育種学会創立50周年記念式典

記念式典

(会長挨拶, 来賓祝辞, 感謝状贈呈, シンボルマーク発表)

記念講演

武田元吉(玉川大学農学部): 日本育種学会の半世紀, 育種学の1世紀

矢野昌裕(農業生物資源研究所): 作物の遺伝子資源変異の発掘と創出

Khush, Gurdev (IRRI): Rice Breeding at IRRI: An Example of International Collaboration

祝賀・懇親会

### 平成12年度決算(案)および13年度予算(案)

収入の部	平成12年度決算	平成13年度予算
科 目	決算額(円)	予算額(円)
1. 初期費用繰入	1,200,000	3,144,572
2. 会員会費	20,905,500	18,320,000
3. 賛助会員会費	1,740,000	1,740,000
4. 文部省助成金	2,760,027	1,400,000
5. 別冊等頒布	5,059,000	3,370,000
6. 雑収入	3,288,262	3,170,000
7. 寄付金	2,100,000	0
合 計	37,052,789	31,144,572

支出の部	平成12年度決算	平成13年度予算
科 目	決算額(円)	予算額(円)
・事業費	19,472,400	18,630,000
1. 雑誌刊行費	10,005,555	10,000,000
2. 別冊印刷費	2,790,900	2,800,000
3. 雑誌送料	1,358,440	1,400,000
4. 別冊送料	125,080	130,000
5. 大会費	2,560,008	1,200,000
6. シンポジウム費	200,000	400,000
7. 学会賞費	1,073,420	500,000
8. 英文校閲費	350,650	350,000
9. 名簿作成費	436,800	1,000,000
10. 選挙費	20,200	50,000
11. 通信費・送料	551,347	800,000
・運営費	8,915,198	9,290,000
1. 学会分担金	60,000	100,000
2. 雑誌購入費	0	50,000
3. 学術会議関連費	244,730	250,000
4. 事務担当者手当	280,000	280,000
5. 事務費	4,056,013	4,300,000
1) 庶務	1,000,000	1,000,000
2) 編集	2,200,000	2,200,000
英文誌	1,500,000	1,500,000
和文誌	700,000	700,000
3) 集会	400,000	400,000
4) 会計	43,363	200,000
5) 附属印刷物等	412,650	500,000
6. 事務委託費	4,200,000	4,200,000
7. 文具費	53,455	60,000
8. 予備費	21,000	50,000
・繰入金	8,665,191	3,224,572
1. 次年度へ繰入	3,144,572	2,224,572
2. 運営基金へ繰入	3,420,619	1,000,000
3. 学会賞基金繰入	0	0
4. 50周年基金繰入	2,100,000	0
合 計	37,052,789	31,144,572

基 金	平成12年度決算	平成13年度予算
運営基金	20,000,000	21,000,000
学会賞基金	3,250,000	3,250,000
50周年事業特別会計		
収入	4,100,000	4,100,000
繰越 寄付	2,000,000 2,100,000	4,100,000
支出	0	3,350,000
事典編集委員会	0	300,000
式典委員会	0	1,500,000
育種フェア	0	500,000
記念誌	0	450,000
九州大学特別シンポジウム費	0	400,000
シンボルマーク費	0	200,000
収支	4,100,000	750,000

### 日本植物細胞分子生物学会 / 第19回大会・シンポジウム(東京)

主催: 日本植物細胞分子生物学会

日時: 2001年7月30日(月), 31日(火)

会場: 東京農業大学・世田谷キャンパス

(〒156-8502 世田谷区桜丘1-1-1)

(1) 7月29日(日)市民と高校生のための公開シンポジ

ウム(参加自由,参加費無料)

「身近な植物バイオテクノロジー 食品と農業」予  
定講演者:柴田大輔(かずさDNA研),荒井綜一(東京  
農大),小泉武夫(東京農大),柴田勝(王子製紙(株))

(2)大会期間中,下記の3つのシンポジウムが計画さ  
れております.

1.ポストゲノム時代の育種戦略.オーガナイザー:  
佐々木卓治(農水省生物研),西谷和彦(東北大) 話題  
提供者:山根精一郎(日本モンサント(株)),矢野昌裕  
(農水省生物研),高岩文雄(農水省生研),平野久(横  
浜市大木原生研),横山隆亮(東北大),佐塚隆志(かず  
さDNA研・名大)

2.すぐに役立つバイオインフォマティクス  
オーガナイザー:田畑哲之(かずさDNA研)・中井謙  
太(東大医科研) 話題提供者:佐藤直樹(埼玉大),中  
村保一(かずさDNA研),中井謙太(東大医科研),久  
原哲(九大)

3.硫黄代謝の制御とバイオテクノロジー  
オーガナイザー:内藤哲(北大),斉藤和季(千葉大)  
話題提供者:斉藤和季(千葉大),高橋秀樹(理研),柴  
垣奈佳子(東大),Thomas Leustek(Rutgers Univ.),野  
路征昭(千葉大),Holger Hess(MPI),内藤哲(北大)

参加費:一般会員9000円,非会員11000円,学生会員  
4500円.ただし,公開シンポジウムは無料です.

参加・申込み要領:大会参加申し込みは大会当日まで受  
け付けます.Plant Biotechnology誌12月号(Vol.17 No.4)  
の綴り込みの参加申込表に御記入の上お申し込み頂いても  
結構です.

申込連絡先:〒156-8502 世田谷区桜丘1-1-1 東京  
農業大学・応用生物科学部バイオサイエンス学科内・日  
本植物細胞分子生物学会第19回大会準備委員会・事務局  
(委員長 田中重雄)TEL:03-5477-2468/FAX:  
03-5477-2628; e-mail:19jpspcmb@nodai.ac.jp

### 平成12年度北海道支部会・例会・シンポジ ウム・札幌農林学会(年次講演会:日本作物 学会北海道談話会との共催)

1)例会

第196回 平成12年1月31日 於:北海道大学農学部  
イネのDNAマーカーを利用した牧草のゲノム研究  
山田敏彦(北海道農業試験場)

飼料作物における分子育種の現状とその展開  
明石 良(宮崎大学農学部)

第197回 平成12年3月2日 於:北海道農業試験場  
PsbY, a small manganese binding photosystem II associated  
protein. Achim E Gau (Institute of Botany, Hannover  
University, Germany)

第198回 平成12年7月10日 於:北海道大学農学部  
Rice Production in Australia—Physiological constraints in  
Rice Productivity—. Robert L. Williams (Yanco Agricul-

tural Institute, New South Wales, Australia)

第199回 平成12年10月16日 於:北海道農業試験場  
Development of molecular markers and applications in rice  
genetics and breeding. Susan McCouch (Cornell Univ.,  
USA)

Characteristics, inheritance and RFLP mapping of the pani-  
cle blast resistance gene, Pb1, in rice. 藤井 潔(愛知  
県農業総合試験場)

第200回 平成12年11月15日 於:北海道大学農学部  
Cloning and characterization of genes differentially regulat-  
ed during cold acclimation in alfalfa. Sergey Ivashuta  
(All Russian Williams Fodder Research Institute;  
Hokkaido University)

Mapping soluble carbohydrate content and associated traits  
in ryegrass. Mervyn Humphreys (Institute of Grassland  
and Environmental Research, UK)

2)シンポジウム テーマ:「南空知の農業」

平成12年8月28日 於:北海道立中央農業試験場  
人工衛星を利用した低タンパク米生産支援 安積大治  
(道立中央農業試験場)

道央向け大豆育種の現状と課題 白井和栄(道立中央  
農業試験場)

春播小麦の育種について 池口正二郎(ホクレン農総  
研)

3)年次講演会

平成12年12月2日 於:北海道大学農学部  
年次講演会要旨についての連絡先:斎藤浩二(北海道  
農業試験場 857-9471 kjsaito@cryo.affrc.go.jp)

キンギョソウbeni遺伝子の単離に向けたアンカー  
PCRトランスポゾンディスプレイ法の利用(樋浦里  
志・三上哲夫・貴島祐治)/Bangkok-noiに分布する不稔  
性野生イネの遺伝学的研究(田中太郎・島本義也)/Loli-  
um属における生育習性に関連した栄養生長と生殖生長  
の配分様式の分化(大西一光・松篠利・平田聡之・中嶋  
博)/刈り取りストレスによる野生イネの資源配分変化  
について(渡邊明・秋本正博・本江昭夫)/イネのアレロ  
パシー能に関与するQTLの検出(江花薫子・奥野員敏)/  
葉間期の動態に基づいたイネのライフサイクルの規格  
化(伊藤勇樹・佐野芳雄)/イネの自家不和合系統作出の  
可能性について(鈴木良平・奥野員敏・佐野芳雄)/イネ  
種間雑種におけるF<sub>1</sub>雑種不稔遺伝子の複雑性(波田野  
晋・鈴木良平・Khin-Thidar・佐野芳雄)/Waxy座近傍の  
300 kb領域の反復配列の構造とその特徴(國井基行・長  
野宏則・貴島祐治・佐野芳雄)/野生イネ由来の強感光  
性遺伝子の遺伝的解剖(佐々木敦司・松原一樹・伊藤勇  
樹・佐野芳雄)/イネ栽培における脱粒性遺伝子の比  
較遺伝(嶋田可奈子・地子立・佐野芳雄)/イネアントシ  
アニン基本着色遺伝子C候補領域のDNA多型(高橋彩・  
三上一保・Khin-Thidar・佐野芳雄)/栄養生長期のイネ  
の生長の水温反応に関する品種間差異の解析(藤村恵

人・長谷川利拡・下野裕之・永田貴之・岩間和人・実山豊) オーストラリア, リベリナ地域における水稲生産力のモデル解析(長谷川利拡・R.L. Williams) コルヒチン処理と昼夜変温培養によるイネ薬培養の効率向上(木内均・新橋登・沼尾吉則) 乾田直播水稲の発芽, 苗立ちに及ぼす植物生育調節剤(TNZ, ALA)の効果(松澤智彦・湯川智行・渡辺治郎・大下泰生・栗崎弘利・義平大樹) コムギ春化反応性遺伝子Vrn-A1とCKII $\alpha$ 遺伝子との連鎖関係(加藤清明・木藤新一郎・柴田沙矢香・三浦秀穂・沢田壮兵) コムギのアミロース含量に対する個々のWx座の量的効果(Wickramasinghe, M.H.A.・千葉健太郎・三浦秀穂・加藤清明・沢田壮兵) コムギのWxタンパク質欠失系統における籾物性の差異(石田奈々子・山内宏昭・三浦秀穂) コムギ種子休眠性関連遺伝子のマーカー選抜に向けて(三浦秀穂・加藤清明・長学・劉美郎) 秋播小麦F<sub>2</sub>世代種子の粒形質による選抜効果の一考察(荒木和哉・高宮泰宏) コムギ実生におけるロウワセリン層を用いた根貫入力の評価(久保堅司・実山豊・長谷川利拡・岩間和人) 秋播きコムギの根の分布と収量に及ぼす土壤物理性の影響(伊藤博武・中島敬・林茂樹・宮武勝美・吉田穂積・山崎耕宇・小松輝行) 初冬播きによる春播きコムギの休眠性の変化(上埜喜八) 秋播小麦の成熟期前後の発芽について(鈴木孝子・前野真司) 秋まき小麦品種における穂発芽抵抗性の改善 穂発芽抵抗性の評価(柳沢朗・西村努) 秋まき小麦品種における穂発芽抵抗性の改善 穂発芽極難素材(西村努・柳沢朗・天野洋一・三上光輝・長内俊一) パン用小麦粉品質とグルテン構成の関係 第一報 小麦粉生地物性とHMWグルテニンサブユニット構成の関係(中道浩司・田引正・柳沢朗) パン用小麦粉品質とグルテン構成の関係 第二報 製パン適性とHMWグルテニンサブユニット構成の関係(田引正・中道浩司・柳沢朗) Test of Scab Resistance of Winter Wheat(Li Junming) 1/2タイプの接種検定法による秋まき小麦の赤かび病抵抗性の評価および選抜(谷藤健・柳沢朗) 注射接種法による赤かび病抵抗性の評価およびCIMMYT, USDA導入品種の赤かび病抵抗性(西尾善太・李俊明・高田兼則・桑原達雄・坂智宏) チホクコムギ $\times$ PI 173438の後代における雪腐病抵抗性と農業特性の関連(入来規雅・川上顕・高田兼則・八田浩一・大藤康雄) 秋播ライコムギ, コムギ, ライムギの収量差と群落光合成, 受光態勢との関係(西川晋平・義平大樹・橋本忠浩・清水幸一) 秋播ライコムギの窒素施肥反応 コムギ, ライムギとの比較(義平大樹・唐澤敏彦・中司啓二) 土壤水分条件がバレイショ栽培品種の根の形態に及ぼす影響(伊藤香織・岩間和人・実山豊・長谷川利拡) 土壤水分条件がバレイショマイクロチューバーの生育および収量に及ぼす影響(カワカミジャクソン・岩間和人・長谷川利拡・実山豊) バレイショのマイクロチューバーにおける器内生成能の品種間差異(三口雅人・鈴木裕志・津田

昌吾・森元幸) バレイショにおける塊茎打撲耐性の品種・系統間差(高田明子・小林晃・津田昌吾・森元幸) ジャガイモYウイルスに対する抵抗性検定(向原元美・竹内徹) 高品質でん粉原料用ばれいしょの育種(池谷聡・大波正寿・千田圭一・伊藤武) 加工用ばれいしょの選抜における全自動グルコース測定装置の利用(大波正寿・千田圭一・池谷聡・伊藤武) 熱帯性作物キャッサバのピーズガラス化法による超低温保存(平井泰・酒井昭) 圃場条件下における畑作物の群落表面温度の生育に伴う推移と蒸散速度および土壤水分状態との関係(福岡峰彦・長谷川利拡・岩間和人) 気象からみたトウモロコシ生産力の簡易推定モデルの検証(須藤弘嗣・田中宏樹・鮫島良次・長谷川利拡・岩間和人・実山豊) /SSRマーカーにより推定したトウモロコシ自殖系統間の近縁度の主成分分析(榎宏征・佐藤尚・濃沼圭一) 上川地域におけるケナフの生育特性(南忠・後藤英次) 畑作地帯におけるアマランサスの最適播種期(本田裕・船附稚子・鈴木達郎) 有限伸育性そばの結実に及ぼす栽植密度の影響(船附稚子・鈴木達郎・本田裕・船附秀行) ソバ種子リポキシゲナーゼ活性の品種間差(鈴木達郎・本田裕・船附稚子) エゾノギギシの生育に対する生物的環境条件の影響(石川枝津子) アズキおよび近縁種の胚軸長の変異(沢田壮兵・長岡優典・青山聡・村田吉平) アズキ種皮色に及ぼす登熟期の温度の影響 第3報 エリモシヨウズ種皮色の年次間変異(長岡泰良・沢田壮兵) 同一連鎖群上のSSR標識の遺伝的変異に基づくダイズ在来種の系統関係(鈴木祐一郎・阿部純・金澤章・島本義也) SSRマーカーによるダイズシストセンチュウ抵抗性(レース3, 1)に関するQTL解析(鈴木千賀・田中義則・湯本節三) 大豆の摘莢処理が成熟後の茎水分低下に及ぼす影響(田中義則・湯本節三) 東北地方のダイズ品種における裂莢性の変異(湯本節三・高橋浩司・高田吉丈・中村茂樹) テンサイにおけるICP遺伝子の発現解析(木本裕・島本義也) テンサイそう根病抵抗性に関するRAPDマーカー解析(紙谷元一・楠目俊三・木口忠彦・相馬ちひろ) テンサイ高アミノ態窒素含量系統における選抜効果及び施肥反応(蔵之内利和・木田隆夫・石渡裕・田中征勝) テンサイ育種試験における精密播種機の利用 第2報 真空精密播種機「HEGE 95K」の利用による直播試験方法の確立(田口和憲・大瀧直樹・高橋宙之・岡崎和之・田中征勝) テンサイ種子の品質向上に関する研究 第6報 採種栽培における被覆処理の効果(大瀧直樹・高橋宙之・田中征勝) /テンサイの花粉に関する研究 第2報 風洞実験における花粉の飛散特性(高橋宙之・岡崎和之・田中征勝) テンサイ不耕起栽培圃場における除草剤の低量散布(六笠裕治・山縣真人)

**日本育種学会会員異動(2001.1.24 ~ 2001.4.20)**

普通会員入会：浅山聡，大西一光，西尾善太，船附稚子(北海道)，菅野善明，清川繁人(青森)，植松芳彦，大竹祐子，多田欣史，山内歌子，湯川聖士(茨城)，平田球子(栃木)，福澤洋光(埼玉)，謝国生(東京)，大矢武志，上西愛子，川浦香奈子，河田隆弘，木坂真由美，北宣裕(神奈川)，芹沢啓明(長野)，栗原将彦，萩原葉子(静岡)，山川智大(三重)，笹沼恒男，古谷規行(京都)，磯貝彰，高山誠司(奈良)，程治軍，南角奈美(岡山)，北出洋子(山口)，玉置学(愛媛)，SOBRIZAL，波多野哲也(福岡)，原貴洋(熊本)

学生会員入会：石田奈々子，國井基行，藤田由美子，渡邊明(北海道)，伊藤俊直，熊谷悠子，畑谷みどり(山形)，天野克紀，井門健太，小林真理美，坂田清華，本城正憲(茨城)，Reynato P. Umali，草野博彰，多和田圭一，馬場夕紀子(千葉)，石川裕子，木苗貴秀(東京)，道券秀雄，峯岸恭孝，山下隆(神奈川)，市川優(富山)，揚妻正和，向畑元博(愛知)，Tomita Rubens Norio(三重)，大嶋貞智，小西武彦，内藤健，中村祥子，松崎準(京都)，尾川武史，久住洋平(大阪)，Prem Nidhi Sharma，橋本善太郎，廣澤秀二郎(兵庫)，高橋章，早間良輔(奈良)，阿部宏美，井関崇(島根)，中山壮一郎，元井由加(岡山)，有村元宏，長田雅之，Bakul Rani Debi，虫鹿純子(香川)，黒田智，羽方誠(愛媛)，倉員俊雄，鷹野典子(福岡)，古賀農人(佐賀)

団体会員入会：秋田県果樹試験場(秋田)，丸善株式会社名古屋支店(愛知)

外国会員入会：NATIONAL CHIA-YI INST OF TECH., C/O LILY JOURNAL & BOOK CO LTD(中華民国)，

Mohamed Shehata EL-Keredy(EGYPT)，Sohei Kobayashi(Philippines)，ETH-BIBLIOTHEK, ZEITSCHRIFTEN(SWITZERLAND)，29 EMBRAPA/CPATU(U.S.A.)

**住所変更等**

普通会員：廣井清貞(北海道)，小山田善三(青森)，加藤晶子，島津樹一(岩手)，菅野紹雄(福島)，梁正偉，王子軒，喜多正幸，近藤禎二，飛田哲，中島皐介，丹羽勝，平林秀介，藤田雅也，山口勲夫(茨城)，加藤常夫，吉田智彦(栃木)，金谷良市(群馬)，林少揚，高師知紀(千葉)，樋口恭子(東京)，寺石政義(神奈川)，馬場孝秀，吉田均(新潟)，下野和彦(福井)，遠藤弘志(岐阜)，鈴木徹(三重)，天野禎子(大阪)，岩井正志(兵庫)，岡憲明，片山平(岡山)，春原嘉弘(広島)，永井尚子(愛媛)，田村克徳(福岡)，國武久登(宮崎)

学生会員：尾崎寛子(新潟)，青木千佳(愛知)，片板宗毅(京都)，岩原洋子，大本剛，新田みゆき，橋戸安規子(大阪)，早崎美華子，堀清純(岡山)

団体会員：独立行政法人農業技術研究機構 北海道農業研究センター(旧：北海道農業試験場 北海道)，秋田県農業試験場生物学部(旧：秋田県生物資源総合開発利用センター 秋田)，独立法人農業技術研究機構 果樹研究所カンキツ研究部興津(旧：果樹試験場カンキツ部(興津)図書室 静岡)

外国会員：朱長甫(国内より外国へ Germany)，IRRI — INTERNATIONAL RICE RESEARCH INSTITUTE LIBRARY AND DOCUMENT SERVICE(送付先変更)(Philippines)，Hidefumi Seko(国内より外国へ)(Vietnam)